

# 平成 24 年度 第 3 回 産業医部会 幹事会議事録

日 時：平成 24 年 11 月 22 日（木）16：00～18：00

場 所：東京工科大学 3 号館 10 階 31015（第 22 回全国協議会 G 会場）

出席者：広瀬 俊雄（部会長）、斉藤 政彦（副部会長）、伊藤 正人、彌富 美奈子、色川 俊也、  
岩田 全充、宇土 博、織田 進、小田原 努、佐藤 広和、加藤 憲忠、佐藤 修二、  
杉原 由紀、寺澤 哲郎、谷山 佳津子、中平 浩人、中西 一郎、中屋 重直、昇 淳一郎、  
服部 真、福本 正勝、森口 次郎、宮本 俊明、山本 真二 計 24 名  
(五十音順：敬称略)

議題：

## 審議事項

### 1. 全国協議会の運営について

広瀬部会長より、全国協議会の開催にあたって懸案となっている諸事項への対処方策について提起が行われた。

企画運営委員長の選出方法については、これまで未確定のままであったが、今後は開催地方会長および開催関連3部会長による協議を経た上で企画運営委員長候補等を選出するよう、申し合わせる方針である旨の説明が行われた。これまでの全国協議会の中で、部会との十分な連携確保が困難となる運営体制により開催されたケースが一部に見受けられることから、今後は関係部会と開催地方会との連携を更に強化することを目的として、関係部会の全国幹事（出身部会不問）の中から企画運営委員長候補等の選出を行うよう、4部会長会議にて申し合わせる方針についても説明が行われた。

運営責任主体のあり方に関連して、収支の取扱い方針が未確定であることによって一部に支障が出ている状況となっており、特に、収支悪化時における責任の主体のあり方の明確化に向け、4部会長会議にて申し合わせを行う旨の説明が行われた。

産業衛生技術部会と現在の開催関連3部会との連携について、第23回全国協議会（名古屋）では、連携確保が可能の見込みであるとの報告が行われた。第24回全国協議会以降の運営体制については、同部会の主体的判断に基づくことになる見込みであるが、何らかの形による合意が可能か否か、4部会長会議にて確認を行う方針について説明が行われた。

### 2. 全国協議会の開催地について

広瀬部会長より、平成 26 年度以降の開催地方会について、平成 26 年度は北陸甲信越地方会、平成 27 年度は中国地方会、平成 28 年度は近畿地方会となる見込みである旨、4部会長会議にて確認する方針について、説明が行われた。

### 3. 当部会と日本労務学会との連携について

広瀬部会長より、当部会と同学会との連携実績について、東北地方会における連携事例の紹介が行われるとともに、各地方会における連携強化に向けた方策検討実施について、要請が行われた。岩田幹事より、東海地方会における同学会との連携実績について、東海地方会産業医部会主催の産業医連絡会の中で、同学会の立場の演者から「職場不適應について考える」をテーマに発表が行われた旨の紹介があった。

4. 労働衛生関連法制度検討委員会からの提案に対する当部会の対応について

齊藤副部長より、同委から厚生労働省に対し、先手を打つ形で労働衛生法令に関する課題提起を行う計画であり、同委の堀江正知委員により原案が作成された厚労省宛の要望書の紹介が行われた。本幹事会出席者からは、同要望書の全体趣旨には当部会として賛同できるものの、細部の表現についてみると、一部に再考を要請すべき記載が認められるため、本格的な取扱い時には、改めて当部会からの意見表明の機会が別途設けられることを希望する旨の意見がみられた。

5. 第23回全国協議会（名古屋）について

齊藤副部長（企画運営委員長）より配布資料を元に、企画運営体制の概要、メインテーマ、主会場および合同セミナー会場等の開催概要について、説明が行われた。

6. 部会報について

岩田幹事より、部会報第46号の編集および発行状況について報告が行われるとともに、今後の編集方針として、各地方会の若手部会員による執筆を積極的に呼びかける旨の説明が行われた。

7. 第86回学術集会（松山）について

昇幹事より、開催計画の概要および、当部会関連プログラムの概略案について説明が行われた。

8. 産業医フォーラムについて

杉原幹事より、第86回学術集会（松山）におけるフォーラム計画概要について、テーマに「連携」あるいは「多様性」をキーワードとして組み込む方向で検討中であること、四国地方会および中国地方会に縁の深い演者等の選定を検討中である旨の報告が行われた。

9. 産業医プロフェッショナルコースについて

加藤幹事より、第17回産業医プロフェッショナルコースの計画概要について、テーマを「産業医のための予防法学」とし、平成25年2月16日（土）～17日（日）にMELONDIA あざみ野（横浜市青葉区）において準備中である旨の報告が行われた。また、齊藤副部長より、同コースの当部会事業としての位置付けが必ずしも明確ではないとの指摘がみられることに対し、今後は、同コース委員会と当部会との更なる連携強化を図り、浜口委員長に引き続き関与願う方向で調整を行う方針である旨の説明が行われた。

10. 四部会合同セミナーについて

広瀬部長より、当セミナーについて、当初は全国協議会から独立した運営が行われていたが、第15回全国協議会（広島）から連動して開催されるなど、一部で運営環境に変化が見られるもの、今回で10回目を向かえるなど、恒例行事として定着化している一方、運営内規が未整備であることにより四部会の相互理解に基づいた運営推進が一部で困難となるなどの課題の顕在化が見られており、四部会合同企画運営委員会（当部会より、佐藤広和幹事、服部幹事、宇土幹事を同委メンバーに選出）にて申し合わせを行う方針について、説明が行われた。

11. リレーワークショップについて

広瀬部長より、全国協議会における本プログラムの事前登録者数が低調である傾向が認めら

れており、今後の企画存続に影響が出ないよう、関係者による一致協力した運営および広報体制の構築について、要請が行われた。

#### 12. 次回および次々回幹事会について

広瀬部会長より、次回（平成24年度第4回）幹事会を、平成25年2月15日（金）に東京都内で開催する計画であるとの提案があり、了承された。また、次々回（平成25年度第1回）幹事会については、第86回学術集会（松山）会期中の平成25年5月14日（火）に計画中であるとの説明が行われた。

#### 報告事項：

##### 1. 第22回全国協議会（東京）について

福本幹事（企画運営委員長）より、最終的な準備状況について、労務学会、プライマリケア学会、渡航医学会等の他学会との連携プログラムを充実させたこと、また、厚生労働省を始めとする関係機関からの後援名義を多数獲得したこと等、プログラムおよび運営体制に関する確定状況について報告が行われた。

以上